

山陽小野田市議会

平成28年6月・7月議会 議会報告会

プログラム

- * 開会挨拶
- * 6月・7月議会の報告
一般会計予算決算常任委員会
- * 質疑応答

一般会計予算決算常任委員会

6月定例会

平成28年度山陽小野田市一般会計補正
予算(第1回)について

平成28年度山陽小野田市一般会計補正
予算(第2回)について

7月臨時会

平成28年度山陽小野田市一般会計補正
予算(第3回)について

レノファ山口支援事業

● 事業概要

- ・ 本市をホームタウンとするプロサッカーチーム
レノファ山口の支援策
- ・ 県立おのだサッカー交流公園内にクラブハウ
ス機能を備えた交流施設を建設



- ・ レノファ山口の練習環境を整備
- ・ スポーツ交流拠点としての機能強化
- ・ 補正予算額は、1億4,191万8,000円

- 主な歳出
 - 交流施設の建設費（1億3,968万8,000円）
 - 備品購入費、施設管理経費など

- 主な歳入
 - JFAサッカー施設整備助成金（1,500万円）

- 財源調整
 - 財政調整基金繰入金（1億2,691万8,000円）



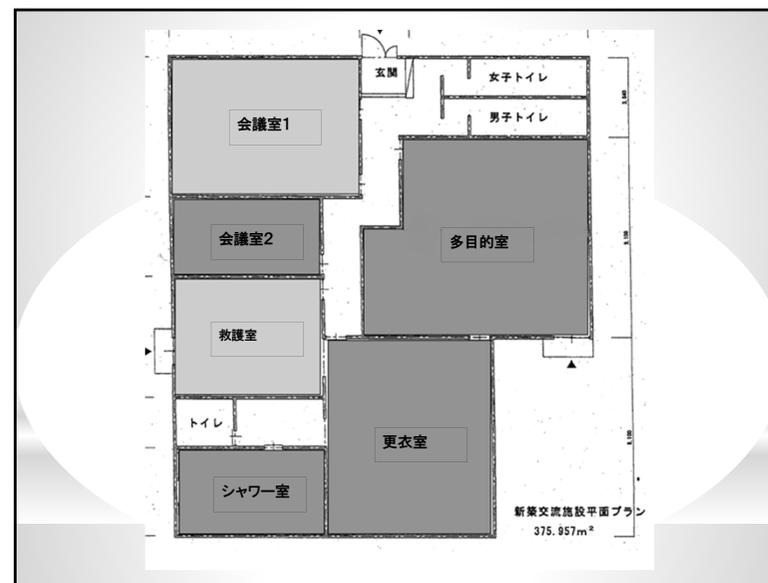
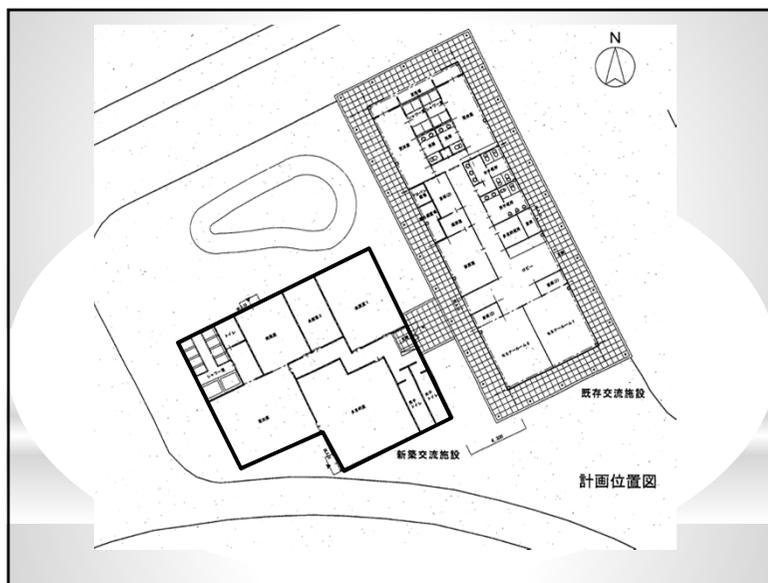
財政調整基金残高 34億8,366万6,000円

- 建設目的

地方創生の観点から、交流人口の増加、人口定住促進、市民の一体感の醸成などプロスポーツを活用したまちづくりを推進

- 審査の中で明らかになった事項

- 県立おのだサッカー交流公園内の県交流施設棟の隣接地に建設
- 軽量鉄骨、平屋建て、面積は375.957㎡
- 会議室など6部屋
 - 一般開放部分（会議室1、救護室）
 - レノファ山口専用部分（会議室2、多目的室、更衣室、シャワー室）
- 本来、クラブハウスは、最低500㎡必要だが、県交流施設のセミナールーム、シャワー室、更衣室をクラブハウスとして使用することで条件をクリア



- J1ライセンス申請期日が6月末、逃すと今シーズンはJ1ライセンスが交付されない

- 維持管理費は年間約300万円

● 主な質疑

なぜ、急ぎで議案を提出することになったのか

↳ 県が6月17日に県立おのだサッカー交流公園内での練習拠点施設建設を承認する正式発表を行ったが、それを受けての対応となったため、時間が掛かった。

- レノファ山口の練習が平日週5日となり、一般の利用者に影響はないのか

↳ 一般の利用者は、平日の夜と土日の利用が多いため、重複することはほとんどない

- 建設費用や維持管理費は、市にとって大きな負担となるが、どのように考えているのか

↳ 建設費の負担は、5割を目標にレノファ山口と交渉。また、施設の維持管理費も、パートナーズクラブなど他の団体に協力を依頼

○ 結果 全員賛成で可決

質疑応答

* 発言の前に自治会名とお名前をお願いします。

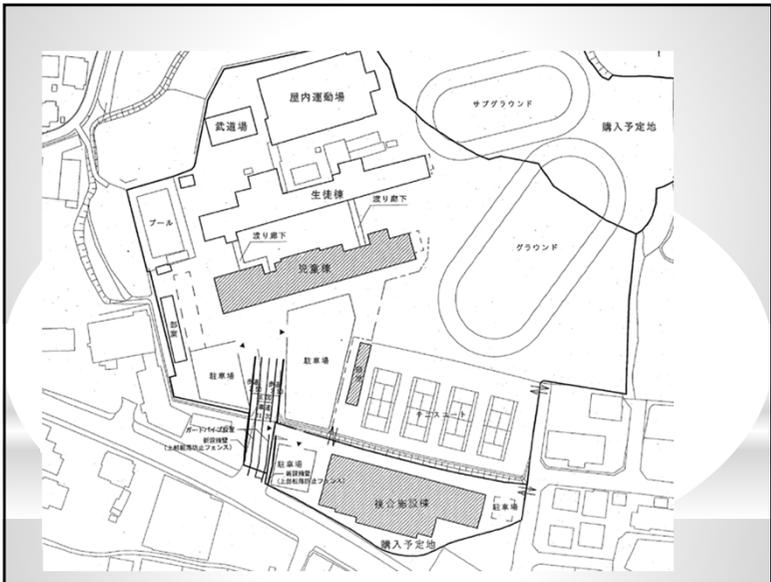
* 質問は一問一答で行います。

* 質問内容は簡潔に1分以内くらいにまとめてください。

埴生地区複合施設整備事業

● 事業概要

- 埴生中学校に隣接する土地を購入
- 埴生支所、埴生公民館、児童クラブ機能を集約した複合施設を整備
- 補正予算額は、6,228万5,000円



- 3月議会で一度上程されたが、議会が複合施設建設に係る用地購入費等を削除し、修正可決



- 場所決定における市民合意の捉え方
- 学校に隣接することに伴う児童の通行の安全性
- 植生の将来を見据えたまちづくり

これらの点について、調査が必要

●再度上程した理由

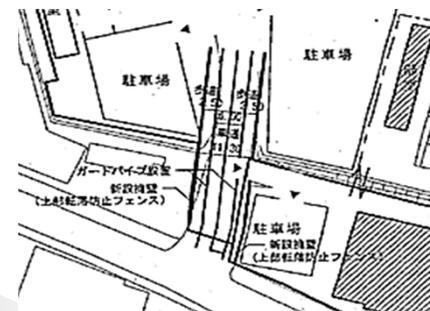
- ・ 植生中学校の隣接地に複合施設を整備することが最も望ましい。
- ・ 合併特例債の活用の点から、7月着工のスケジュールがぎりぎりの時期

○市民合意の捉え方

➤ 植生地区の意見交換会を通じて、おおむねの合意を得ている。

○児童の通行の安全性

➤ 中学校の進入道路拡大により歩道の確保と車道の区分を行う。



○ 埴生の将来のまちづくり

- ・ 第一次総合計画や都市計画マスタープランに示しているとおりが、実現できていない部分については、第二次のプランに引き継ぐ。
- ・ 青年の家の活用については、平成32年度以降、レクリエーション拠点として整備を図り、入場ゲートは平成29年度に解体

- ・ 埴生小中学校整備事業の隣接地に複合施設を建設することで、教育に充実、地域の発展が図られるとともに財政効果の創出につながる。
- ・ 合併特例債を活用しなければ財政上の効果が少ないため、事業の位置付けが不透明になる。
- ・ 現在の埴生公民館での建て替えについて、進入路が狭く、仮設事務所の設置を要するなど合併特例債を活用した建て替えは、スケジュール的に困難である。

● 賛成の意見

- ・ 14回の意見交換会で一定の合意が得られた。児童の安全については、これまで以上に安全対策が取られている。
- ・ 水害に対する住民の危機感は払拭できていない。現在の提案場所以外はないので、やむを得ない。
- ・ 本市は今年度からコミュニティスクールに取り組んでおり、新しい模索もでき、地域が活性化するチャンスである。
- ・ このままだと地域に亀裂が入るので、できるだけ早く結論を出す必要がある。

● 反対の意見

- ・ 3月議会と全く同じ予算で、臨時会開催の緊急性が感じられない。意見交換会での合意はあったものの、埴生地域全体の合意ではない。
- ・ この問題で地域を二分してはいけない。現在地での建て替えについて、合併特例債も含め可能性として追求すべき。
- ・ 修正後、調査を重ね、場所については意見が分かれていることを実感した。現在地での建て替えなら賛同が得られるのではないか。
- ・ 埴生の発展のためにどの地域に施設を持っていけばいいのかの議論がほとんど行われていない。現在地に建てるなど検討していくべき。

● **結果**

委員会では可否同数により、委員長裁決で否決
本会議では賛成多数により、原案可決

質疑応答

- * 発言の前に自治会名とお名前をお願いします。
- * 質問は一問一答で行います。
- * 質問内容は簡潔に1分以内くらいにまとめてください。

ありがとうございました

アンケートにご協力ください